

職業関連科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時
キャリアデザイン講座	キャリア・イメージを作る	2	キャリア支援担当	4	木	3
キャリアワークショップ	キャリアワークショップ「問題解決のための思考法」	2	宇野健司	3	木	4
インターンシップ	インターンシップ（就業・ボランティア体験）	2	キャリア支援担当	通年		

科目名：キャリアデザイン講座／ Carrier Design Course

曜日・講時：後期 木曜日 3講時

semester：4, 単位数：2

担当教員：キャリア支援担当

講義コード：LB44305, 科目ナンバリング：LHM-OAR901J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：キャリア・イメージを作る

2. Course Title (授業題目) : For making a concept of your own profession

3. 授業の目的と概要：

この授業では、文学部学生が、日本の経済構造や労働法制といった基本事項について理解を深めるとともに、実際の「働く」現場のあり様について具体的なイメージを持ち、自らの将来のキャリアを主体的にプランニングしていけるよう、キャリア支援センターと共同して実践的な教育指導を行います。取得単位は学部専門教育科目として卒業単位にカウントされます(学生便覧で確認のこと)。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

職業生活についての具体的なイメージを得て、自らのキャリアについて主体的に構想していけるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション
2. 日本経済の基本構造について(1)
3. 日本経済の基本構造について(2)
4. ビジネス全般について(1)
5. ビジネス全般について(2)
6. ビジネス全般について(3)
7. 公務員
8. 労働法
9. 二十歳のハローワーク(様々な職種で活躍する先輩等による就職講演会)
10. 業界研究(1)
11. 業界研究(2)
12. 業界研究(3)
13. 自己分析と就職活動(1)
14. 自己分析と就職活動(2)
15. まとめ

8. 成績評価方法：

授業と指定されたセミナーへの出席およびその報告の提出(100%)。

9. 教科書および参考書：

特になし。

10. 授業時間外学習：

授業中に指示された課題の準備。日常的に、新聞・ネット等を通じて経済情報に目配りすること。

11. 実務・実践的授業/Practical business：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

12. その他：

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業/Practical business

職業関連科目「キャリアデザイン講座」及び「キャリア設計演習」実施計画

- 1 開講時期 2020年度後期（木曜日3講時 13:00～14:30）
- 2 単位 2単位
- 3 受講学年 学部生：2年次以上
大学院生：修士1年次以上
- 4 授業の概要

この授業では、文学部・文学研究科学生が、日本の経済構造や労働法制といった基本事項について理解を深めるとともに、実際の「働く」現場のあり様について具体的なイメージを持ち、自らの将来のキャリアを主体的にプランニングしていけるよう、キャリア支援センターと共同して実践的な教育指導を行う。

シラバス案

回(実施日)	事 項	担 当 者
1 (10/1)	オリエンテーション	入試就職室長 キャリア支援センター 高橋修准教授
2 (10/8) 3 (10/15)	日本経済の基本構造について	キャリア支援センター 高橋修准教授
4 (10/22) 5 (10/29) 6 (11/5)	ビジネス全般について	外部非常勤講師 菅野健朗 (株 キャリアD)
7 (11/12)	公務員	外部非常勤講師 野村悟 (株 TAC)
8 (11/19)	労働法	外部非常勤講師 仙台市雇用労働相談センター+ 大江広満 (仙台市雇用労働相談センター代表相談員・社会保険労務士法人めぐみ事務所)
9 (12/3)	20歳のハローワーク	文学部社会連携室
10 (※) 11 (※) 12 (※)	業界仕事研究セミナーへの参加	キャリア支援センター教員等 スピーカー:各界で活躍するOB/OG
13 (1/7) 14 (1/14)	自己分析等スキル系研修	キャリア支援センター 高橋修准教授
15 (1/23)	まとめ	キャリア支援センター 高橋修准教授

※業界研究セミナー開催時期：

11月～1月にかけて、7回程度を実施予定

- 5 その他
 - ① 文学部2年次ガイダンスにキャリア支援センター教員が訪問し、上記授業の説明を行う。
 - ② 成績評価については、文学部社会連携室キャリア支援担当教員が行う。

科目名：キャリアワークショップ／ Carrier Work Shop

曜日・講時：前期 木曜日 4 講時

semester：3, 単位数：2

担当教員：宇野健司

講義コード：LB34401, 科目ナンバリング：LHM-OAR903J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：キャリアワークショップ「問題解決のための思考法」

2. Course Title (授業題目)：Career Workshop

3. 授業の目的と概要：

大手シンクタンク（総合研究所）の大和総研の現役社員が担当するケース・スタディ形式の授業です。

個人のキャリア形成、企業の組織論、経営戦略論など、実践的なテーマを取り上げ、講義（インプット）よりも、ディスカッション（アウトプット）形式に重きをおいて授業を行います。

学生主導で多様な意見を出し合い、論点を立てて議論を行った上で、講師が関連する知見を提供し、学生の気づき、視野の広がり、理解の深まりを促し、自発的な学習への意欲を引き出すことを目指します。

具体的には、上限 30 名の受講生が、毎回、異なる事例（ケース①～⑩）を題材に、学生数名が司会を担い、ディスカッションを行い、その後、講師が総括します。

第 1 回および第 2 回の授業では、「オリエンテーション&模擬ディスカッション」を行い、集団での議論の進め方のポイント、コミュニケーション・スキルの身につけ方、主体的なディスカッションを行う上での意識の持ち方などについて、予備的な素養を共有します。

第 6 回および第 10 回の授業では、講師の体験談をもとにしたキャリア形成の仕方、海外大学院留学、自己啓発、視野の広げ方など、卒業後にも役立つ視点について、Q&A を含めたセッションを行う予定です。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。

また講師の体験談（就職、海外大学院留学、専門スキル習得、会社の実務と仕事のやり方など）をもとに、「将来のキャリアをどう築いて行けば良いのか？」などについても、現実的なアドバイスを与えます。

授業の目標は、以下の 3 点に集約されます。

(1) ディスカッション・スキルを身に付けること

(2) 自分のキャリアについて考えてみること

(3) 多様なクラスメイトや社会人講師から刺激を受け、共に意識を高め合い、将来に向けて自発的に行動できるようになること

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第 1 回 オリエンテーション&模擬ディスカッション（1）

第 2 回 オリエンテーション&模擬ディスカッション（2）

第 3 回 ケース①（導入事例①）

第 4 回 ケース②（導入事例②）

第 5 回 ケース③（導入事例③）

第 6 回 キャリア・マネジメントの話（1）

第 7 回 ケース④（個人のキャリア形成①）

第 8 回 ケース⑤（個人のキャリア形成②）

第 9 回 ケース⑥（個人のキャリア形成③）

第 10 回 キャリア・マネジメントの話（2）

第 11 回 ケース⑦（企業の組織論①）

第 12 回 ケース⑧（企業の組織論②）

第 13 回 ケース⑨（企業の経営戦略論①）

第 14 回 ケース⑩（企業の経営戦略論②）

第 15 回 まとめ

8. 成績評価方法： 授業出席・参加度 100%。レポート、テストは実施しません。

9. 教科書および参考書： 授業内で指示します。

10. 授業時間外学習： 授業内で指示します。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：

科目名：インターンシップ／ Internship

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：通年、 単位数：2

担当教員：キャリア支援担当

講義コード：LB98847, 科目ナンバリング：LHM-OAR902J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：インターンシップ（就業・ボランティア体験）

2. Course Title（授業題目）：Internship（working and volunteer activities）

3. 授業の目的と概要：

実質 10 日間以上（60 時間以上）にわたる企業等での就業体験またはボランティア体験について、2 単位を授業単位として認める。大まかな流れは以下の通りである。

(1) 4 月 履修を希望する学生は、ガイダンスに出席し、履修届を提出する。

(2) 4 月～7 月 履修学生は、学部が提供する受入企業等の情報をもとに、あるいはみずから情報を収集して、各自インターンシップに応募し、受入内諾書をほしい教務係に提出する。

(3) 夏期休業中 履修学生は、実習を行い、実習修了証明書および報告書・評価書（いずれも学部で定めた様式による）を終了後 1 週間以内に教務係に提出する。

(4) 1 月 履修学生は、報告会で報告する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験または震災復興等ボランティア体験を行うことによって、職業適性や資質を正しく認識し、高い意識のもとで主体的な職業選択ができるようにする。また、社会体験を大学での勉強にフィードバックすることで、学生生活をより実りあるものとする。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 受入企業等での実習、ボランティア活動
3. 受入企業等での実習、ボランティア活動
4. 受入企業等での実習、ボランティア活動
5. 受入企業等での実習、ボランティア活動
6. 受入企業等での実習、ボランティア活動
7. 受入企業等での実習、ボランティア活動
8. 受入企業等での実習、ボランティア活動
9. 受入企業等での実習、ボランティア活動
10. 受入企業等での実習、ボランティア活動
11. 受入企業等での実習、ボランティア活動
12. 受入企業等での実習、ボランティア活動
13. 受入企業等での実習、ボランティア活動
14. 受入企業等での実習、ボランティア活動
15. 事後報告会での発表

8. 成績評価方法：

(1) ガイダンスへの出席、 (2) 実習修了証明書の提出、 (3) 実習報告書・評価書の提出、 (4) 事後報告会での発表

9. 教科書および参考書：

ガイダンスで指示する。

10. 授業時間外学習：

この科目は、受入企業等での履修学生の実習、あるいは震災復興等ボランティア活動を中心としている。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：

(1) 選択必修科目としては 2 単位を上限とする。(2) 就業体験は、夏期休業中に行うことを奨励する。(3) インターンシップという名称でなくとも、実質それに相当すると見なされる就業体験については、単位取得の対象として認めるので、担当教員に相談すること（福祉・医療施設での実習など）。